

令和5年度
要介護者口腔保健・医療・ケアに関する関係者
アンケート調査報告書【暫定版】

令和6年7月
新潟県
新潟県歯科医師会

目 次

調査の概要		
1	調査の目的	1
2	実施主体	1
3	調査対象	1
4	調査期間	1
5	調査方法	1
6	調査項目	1
7	調査票の様式	2
調査・分析結果		
1	施設の種類	6
2	施設の所在地	8
3	職員中の歯科衛生士の配置状況	11
4	口腔に問題のある要介護高齢者の実態に関する認識	14
5	歯科医師による訪問歯科診療の実施状況	16
6	歯科衛生士による訪問口腔ケアの実施状況	18
7	訪問歯科診療や訪問口腔ケアが十分実施できていない理由	20
8	在宅歯科医療連携室の活用状況	22
9	要介護者に対する日常的な口腔内観察の実施状況	24
10	ケアプランへの口腔ケアの組み込み状況	26
11	要介護者に対する口腔内の問題点やニーズ把握の状況	28
12	口腔内の状況をふまえた口腔ケアの実施状況	30
13	介護者の口腔ケアの負担感に対する認識	32
14	口腔ケアに関する研修会の受講状況	34
15	口腔ケア研修会の受講希望の有無	36
16	歯科専門職（歯科医師等）との連携状況	38
17	歯科医師，歯科衛生士等との相談体制	40
18	協力歯科医の有無	42
19	利用者が歯科健診を受ける機会	44
20	歯科健診の頻度	45
21	定期的に歯科健診を実施していない理由	46

調査の概要

1 調査の目的

本県における介護サービス事業所・施設等と歯科医療機関との連携体制を把握し、各地域における在宅歯科医療推進のための体制づくりや多職種連携を促進するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 実施主体

新潟県、新潟県歯科医師会

3 調査対象

令和5年4月1日現在、新潟県内で開設されている以下の施設

- ・特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)(地域密着型含む)、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、認知症高齢者グループホーム(認知症対応型共同生活介護事業所)、養護老人ホーム、軽費老人ホーム(経過的軽費老人ホーム(A型)を含む)、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅(有料老人ホームに該当するもの)、老人デイサービスセンター(通所介護事業所)、通所リハビリテーション事業所、小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能居宅介護を含む)、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション 計 3,840 [回収率 54.2% (2,081 / 3,840)]

4 調査期間

令和5年9月19日～10月20日

5 調査方法

郵送による配布・回収

6 調査項目

所在地、訪問歯科診療の実施状況、日頃の介護における口腔ケアの実施状況、研修会の受講状況、歯科専門職との連携の状況、在宅歯科医療連携室の活用状況 等

7 調査票の様式

※※※調査回答前に、まずは確認をお願いします※※※

調査の主旨に同意頂ける場合は、右側の欄に○を付けてください

回答欄

※○が付いていない場合は集計に加えることができませんので、主旨に同意して御回答頂く際には必ず○の入力をお願いします。



1 事業所について

(1) 事業所等の種類について、該当する回答区分の番号を記入してください。

※本調査は、同一運営主体であっても各事業所の種類別に通知しています。封筒の宛先に記載のある区分を選択してください。

回答区分	回答欄
1 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設 ※地域密着型含む)	
2 介護老人保健施設	
3 介護療養型医療施設	
4 介護医療院	
5 認知症高齢者グループホーム(認知症対応型共同生活介護事業所)	
6 養護老人ホーム	
7 軽費老人ホーム ※経過的軽費老人ホーム(A型)を含む	
8 有料老人ホーム	
9 サービス付き高齢者向け住宅	
10 老人デイサービスセンター(通所介護事業所)	
11 通所リハビリテーション事業所	
12 居宅介護支援事業所	
13 訪問看護ステーション	
14 小規模多機能型居宅介護 ※看護小規模多機能居宅介護を含む	
15 その他	

⇒「15 その他」を選択した場合、下記に具体的な内容を記載

(2) 事業所等の所在地について、該当する回答区分の番号を記入してください。

回答区分					回答欄
1 新潟市	2 長岡市	3 三条市	4 柏崎市	5 新発田市	
6 小千谷市	7 加茂市	8 十日町市	9 見附市	10 村上市	
11 燕市	12 糸魚川市	13 妙高市	14 五泉市	15 上越市	
16 阿賀野市	17 佐渡市	18 魚沼市	19 南魚沼市	20 胎内市	
21 聖籠町	22 弥彦村	23 田上町	24 阿賀町	25 出雲崎町	
26 湯沢町	27 津南町	28 刈羽村	29 関川村	30 粟島浦村	

(3) 事業所等の職員の中に歯科衛生士がいるかどうかについて、該当する回答区分の番号を記入してください。

項目	回答区分	回答欄
事業所等の職員として、歯科衛生士がいるかどうか	1 いる ⇒(3)-1を回答 2 いない	
(3)-1 ⇒「1 いる」を選択した場合、人数を記入してください。		人

2 貴事業所が所在する地域における要介護者等の歯・口腔の状況

貴事業所等の所在する市町村区域(以下、「地域」という。)における下記の項目について、該当する回答区分の番号を記入してください。

項目	回答区分	回答欄
(1) 地域において口腔に問題のある(義歯が合わない、十分口腔清掃ができない等)要介護高齢者がどの程度いるか	1 非常に多い 2 ある程度いるようである 3 ほとんどいない 4 実態を把握していない	
(2) 地域における要介護者に対する、歯科医師による訪問歯科診療の実施状況	1 十分実施されている 2 十分とは言えないがかなり実施されているようだ 3 少しは実施されているようだ →(4)を回答 4 ほとんど実施されていないようだ →(4)を回答 5 実態を把握していない	
(3) 地域における要介護者に対する、歯科衛生士による訪問口腔ケアの実施状況	1 十分実施されている 2 十分とは言えないがかなり実施されているようだ 3 少しは実施されているようだ →(4)を回答 4 ほとんど実施されていないようだ →(4)を回答 5 実態を把握していない	
<p>⇒「設問(2)または(3)」で、「3 少しは実施されているようだ」または「4 ほとんど実施されていないようだ」を選択した場合、「設問(4)」についても回答をお願いします。 ※該当するものすべてに「○」を記入してください。</p>		
(4) 地域において訪問歯科診療や訪問口腔ケアが十分に実施できていない理由は何だと思うか		
(4)-1 歯科医師や歯科衛生士に訪問する時間的余裕がないため		
(4)-2 歯科医師や歯科衛生士の数が不足しているため		
(4)-3 要介護者の口腔問題のニーズが十分把握できていないため		
(4)-4 歯科医師や歯科衛生士の診療施設外で活動する意欲が不十分であるため		
(4)-5 歯科医師や歯科衛生士と他の医療福祉スタッフや行政担当者との連携が不十分であるため		
(4)-6 保健福祉スタッフの口腔ケアに対する認識が低いため		
(4)-7 その他		
「(4)-7 その他」の具体的な内容		

3 貴事業所等における口腔保健医療の取組や連携体制等

貴事業所等における口腔保健医療の取組や連携体制等について、該当する回答区分の番号等を記入してください。

項目	回答区分	回答欄
(1) 各地域に設置されている「在宅歯科医療連携室」を活用（電話相談等）したことがあるか	1 活用したことがある 2 活用したことはないが、在宅歯科医療連携室は知っている 3 在宅歯科医療連携室を知らない	
(2) 要介護者の口腔内の観察を日常的に行っているか	1 常に行っている 2 概ねしている 3 ほとんどしていない 4 していない	
(3) ケアプラン（あるいは診療計画）に口腔ケアを組み込んでいるか	1 常に行っている 2 概ねしている 3 ほとんどしていない 4 していない	
(4) 要介護者に対して口腔内の問題点やニーズをとらえているか	1 常にとらえている →(4)-1を回答 2 概ねとらえている →(4)-1を回答 3 ほとんどとらえていない 4 とらえていない	
⇒「設問(4)」で、「1 常にとらえている」または「2 概ねとらえている」を選択した場合、「設問(4)-1」についても回答をお願いします。		
(4)-1 とらえた口腔内の状況をふまえて口腔ケアを行っているか	1 常に行っている 2 概ねしている 3 ほとんどしていない 4 していない	
(5) 口腔ケアは介護者にとって負担だと思うか	1 非常に思う 2 思う 3 それほど思わない 4 全く思わない	
(6) 今までに口腔ケアに関する研修会を受けたことがあるか	1 はい 2 いいえ	
(7) 今後、口腔ケアに関する研修会を受けてみたいか	1 はい 2 いいえ	

項目		回答区分	回答欄
(8)	歯科専門職(歯科医師等)と日常的に連携をとっているか	1 とっている 2 概ねとっている 3 ほとんどとっていない 4 とっていない	
(9)	歯科医師、歯科衛生士等に、口腔に関する問題について相談することができるか	1 相談できる 2 相談できない	
(10)	事業所に協力歯科医がいるか	1 いる 2 いない	
(11)	利用者が、「歯科医師による歯科健診」を受ける機会があるか	1 あり →(11)-1を回答 2 なし →(11)-2を回答	
⇒「設問(11)」で、「1 あり」を選択した場合、「設問(11)-1」についても回答をお願いします。			
(11)-1	歯科健診の頻度について	1 年1回 2 年2～3回 3 年4回以上 4 不定期 →(11)-2を回答 5 その他 →(11)-2を回答	
	「5 その他」の具体的な内容		
⇒「設問(11)」で、「2 なし」を選択した場合、または「設問(11)-1」で、「4 不定期」か「5 その他」を選択した場合、「設問(11)-2」についても回答をお願いします。 ※該当するものすべてに「○」を記入してください。			
(11)-2	定期的に歯科健診を実施していない理由		
	(11)-2-1 必要性や効果がわからないため		
	(11)-2-2 時間が確保できないため		
	(11)-2-3 費用が確保できないため		
	(11)-2-4 対応する職員の数確保できないため		
	(11)-2-5 その他		
	「(11)-2-5 その他」の具体的な内容		

4 その他(自由記載欄)

歯と口の健康に関する取組や連携体制等について、困りごとや要望等があれば自由に記載してください。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【回答もれがないか、今一度御確認ください。御回答頂いた内容を集計に加えるため、冒頭の同意欄については特に確認をお願いします】

調査結果

1 施設等の種類

はじめに、回答者の全体数は、2019年度調査と比較して、1,692施設から2,081施設に増加していた。2023年度の調査においては、全回答者2,081施設のうち、特に多かったのは老人デイサービスセンター（通所介護事業所）596施設（28.6%）であった。2019年度の調査において、最も多かった居宅介護支援事務所532施設（31.4%）は2023年度調査においてやや減少し、2番目に多い施設であった435施設（20.9%）。一方で、新しく選択肢として設けた小規模多機能型居宅介護が121施設（5.8%）となった（表1）。

また、対象となった施設について、2023年度は入所型施設638か所（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、認知症高齢者グループホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅）、通所型施設671か所（老人デイサービスセンター、通所リハビリテーション事業所）、訪問サービス事業所524か所（居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション）、小規模多機能型居宅介護（看護小規模多機能居宅介護を含む）121か所の4つ、2019年度は入所型施設1,033か所（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、認知症対応型共同生活介護事務所、地域密着型特定施設、地域密着型介護老人福祉施設）、通所型施設912か所（通所介護事務所、通所リハビリテーション事務所）、訪問サービス事業所1,272か所（居宅介護支援事務所、訪問介護ステーション）の3つに分けて分析を行った。

表1 施設等の種類

	施設 種類別	2019年 施設等の種類	回答数	割合	2023年 施設等の種類	回答数	割合	
1	入所 施設	介護老人福祉施設	187	11.1%	特別養護老人ホーム（介護老人 福祉施設 地域密着型含む）	220	10.6%	
2		地域密着型介護老人福祉施設	73	4.3%	-	-	-	
3		介護老人保健施設	84	5.0%	介護老人保健施設	73	3.5%	
4		介護療養型医療施設	11	0.7%	介護療養型医療施設	1	0.0%	
5		-	-	-	介護医療院	14	0.7%	
6		認知症対応型共同生活介 護事業所	163	9.6%	認知症高齢者グループホ ーム（認知症対応型共同 生活介護事業所）	157	7.5%	
7		（地域密着型）特定施設		15	0.9%	養護老人ホーム	9	0.4%
8						軽費老人ホーム 経過的軽費老人ホーム （A型）を含む	40	1.9%
9						有料老人ホーム	72	3.5%
10						サービス付き高齢者向け住宅	52	2.5%
		合計	533	31.5%	合計	638	30.7%	
11	通所 施設	通所介護事業所	387	22.9%	老人デイサービスセンタ ー（通所介護事業所）	596	28.6%	
12		通所リハビリテーション 事業所	56	3.3%	通所リハビリテーション 事業所	75	3.6%	
		合計	443	26.2%	合計	671	37.5%	
13	訪問サ ービス 事業所	居宅介護支援事業所	532	31.4%	居宅介護支援事業所	435	20.9%	
14		訪問看護ステーション	103	6.1%	訪問看護ステーション	89	4.3%	
		合計	635	37.5%	合計	524	25.2%	
15	その 他事 業所	-	-	-	小規模多機能型居宅介護 看護小規模多機能居宅介護を含む	121	5.8%	
16		その他	60	3.5%	その他	114	5.5%	
17	-	2つ以上印	12	0.7%	2つ以上印	3	0.1%	
18	-	無回答	9	0.5%	無回答	10	0.5%	
		合計	1692	100%	合計	2081	100%	

2 施設等の所在地

2023 年の調査において、事務所等の所在地は新潟市が最も多く 31.1%、医療連携室別に見た場合も、新潟市在宅歯科医療連携室が最も多く 31.1%であり、2019 年度の調査における割合からほぼ変化は見られなかった（表 2 - 1、2）。

医療圏別に見た場合、新潟医療圏が最も多く 36.9%、佐渡医療圏が最も少なく 2.3%であり、2019 年の調査と比較して大きな変化は見られなかった（表 2 - 3）。

表 2 - 1 施設等の所在地（市町村別）

市町村	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
新潟市	564	33.3%	648	31.1%
長岡市	179	10.6%	246	11.8%
三条市	73	4.3%	93	4.5%
柏崎市	58	3.4%	72	3.5%
新発田市	76	4.5%	84	4.0%
小千谷市	21	1.2%	28	1.3%
加茂市	9	0.5%	7	0.3%
十日町	46	2.7%	64	3.1%
見附市	26	1.5%	46	2.2%
村上市	60	3.5%	81	3.9%
燕市	49	2.9%	63	3.0%
糸魚川市	33	2.0%	38	1.8%
妙高市	33	2.0%	38	1.8%
五泉市	32	1.9%	56	2.7%
上越市	165	9.8%	217	10.4%
阿賀野市	38	2.2%	42	2.0%
佐渡市	59	3.5%	48	2.3%
魚沼市	33	2.0%	34	1.6%
南魚沼市	39	2.3%	55	2.6%
胎内市	28	1.7%	24	1.2%
聖籠町	10	0.6%	12	0.6%
弥彦村	8	0.5%	10	0.5%
田上町	9	0.5%	13	0.6%
阿賀町	14	0.8%	21	1.0%

出雲崎町	3	0.2%	3	0.1%
湯沢町	3	0.2%	8	0.4%
津南町	7	0.4%	8	0.4%
刈羽村	2	0.1%	5	0.2%
関川町	6	0.4%	6	0.3%
粟島浦村	1	0.1%	2	0.1%
無回答・無効	8	0.5%	9	0.4%
合計	1,692	100.0%	2,081	100.0%

表 2 - 2 施設等の所在地（在宅歯科医療連携室別）

医療圏	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
新潟市在宅歯科医療連携室	564	33.3%	648	31.1%
佐渡在宅歯科医療連携室	59	3.5%	48	2.3%
上越歯科医師会在宅歯科医療連携室	231	13.7%	293	14.1%
柏崎市在宅歯科医療連携室	60	3.5%	77	3.7%
長岡歯科医師会在宅歯科医療連携室	182	10.8%	249	12.0%
小千谷北魚沼在宅歯科医療連携室	54	3.2%	62	3.0%
十日町市中魚沼郡歯科医師会	53	3.1%	72	3.5%
南魚沼歯科医師会在宅歯科医療連携室	42	2.5%	63	3.0%
三条市歯科医師会在宅歯科医療連携室	73	4.3%	93	4.5%
加茂・田上在宅歯科医療連携室	18	1.1%	20	1.0%
見附市在宅歯科医療連携室	26	1.5%	46	2.2%
燕・弥彦在宅歯科医療連携室	57	3.4%	73	3.5%
五泉市阿賀町歯科医師会在宅歯科医療連携室	46	2.7%	77	3.7%
新発田市在宅歯科医療連携室	76	4.5%	84	4.0%
かえつ在宅歯科医療連携室	76	4.5%	78	3.7%
村上市岩船郡在宅歯科医療連携室	67	4.0%	89	4.3%
無回答	8	0.5%	9	0.4%
合計	1692	100.0%	2081	100.0%

表 2 - 3 施設等の所在地（医療圏別）

医療圏	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
下越	181	10.7%	209	10.0%
新潟	648	38.3%	767	36.9%
県央	148	8.7%	186	8.9%
中越	289	17.1%	400	19.2%
魚沼	128	7.6%	169	8.1%
上越	231	13.7%	293	14.1%
佐渡	59	3.5%	48	2.3%
無回答・無効	8	0.5%	9	0.4%
県全体	1,692	100.0%	2,081	100.0%

3 職員の中の歯科衛生士の配置情報

職員の中に歯科衛生士が「いる」と回答した事務所等は 182 施設(8.8%)、「いない」と回答した事務所等は 1886 施設(90.6%)であり、2019 年度調査と比較すると、「いない」と回答した事務所数が 435 施設(4.8 パーセントポイント)増加し、統計的な有意差が認められた(カイ二乗検定, $p = 0.020$)(表 3 - 1)。

「いる」と回答した事務所等の中では、どちらの年度においても歯科衛生士の人数は 1 人と回答した事務所等が最も多く、2019 年度では 80.8%、2023 年度の調査では 81.4% の割合を占めていた(表 3 - 2)。

さらに、施設種類別に見た結果でも同様の結果であり、歯科衛生士が「いる」と回答した割合が最も高かったのは入所施設 68 施設(10.7%)であり、「いない」と回答した割合が最も高かったのは小規模多機能型居宅介護で 3 施設(2.5%)であった(表 3 - 3)。また、入所施設・通所施設・訪問サービス事務所では歯科衛生士の数が 1~3 人と多岐にわたっていたが、小規模多機能型居宅介護では歯科衛生士の数が 1 人に限定されていた(表 3 - 4)。

表 3 - 1 職員中の歯科衛生士

歯科衛生士の有無	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
いる	182	10.8%	183	8.8%
いない	1,451	85.8%	1886	90.6%
無回答・無効	59	3.5%	12	0.6%
合計	1,692	100.0%	2,081	100.0%

表 3 - 2 歯科衛生士の人数

歯科衛生士の人数	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
1人	147	80.8%	149	81.4%
2人	26	14.3%	22	12.0%
3人	6	3.3%	6	3.3%
4人	0	0.0%	1	0.5%
無回答・無効	3	1.6%	5	2.7%
合計	182	100.0%	183	100.0%

表 3 - 3 職員中の歯科衛生士（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	いる	73	13.7%	68	10.7%
	いない	441	82.7%	569	89.2%
	無回答・無効	19	3.6%	1	0.2%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	いる	49	11.1%	61	9.1%
	いない	377	85.1%	605	90.2%
	無回答・無効	17	3.8%	5	0.7%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問サービス事務所	いる	52	8.2%	41	7.8%
	いない	565	89.0%	482	92.0%
	無回答・無効	18	2.8%	1	0.2%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模多機能型居宅介護	いる	-	-	3	2.5%
	いない	-	-	118	97.5%
	無回答・無効	-	-	0	0.0%
	合計	-	-	121	100.0%

表 3 - 4 歯科衛生士の人数（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	1人	57	78.1%	60	88.2%
	2人	12	16.4%	3	4.4%
	3人	3	4.1%	3	4.4%
	4人	0	0.0%	1	1.5%
	無回答・無効	1	1.4%	1	1.5%
	合計	73	100.0%	68	100.0%
通所施設	1人	40	81.6%	49	80.3%
	2人	7	14.3%	8	13.1%
	3人	1	2.0%	2	3.3%
	4人	0	0.0%	0	0.0%
	無回答・無効	1	2.0%	2	3.3%
	合計	49	100.0%	61	100.0%
訪問 サービス事務所	1人	45	86.5%	31	75.6%
	2人	5	9.6%	7	17.1%
	3人	1	1.9%	1	2.4%
	4人	0	0.0%	0	0.0%
	無回答・無効	1	1.9%	2	4.9%
	合計	52	100.0%	41	100.0%
小規模 多機能型居宅介護	1人	-	-	3	100.0%
	2人	-	-	0	0.0%
	3人	-	-	0	0.0%
	4人	-	-	0	0.0%
	合計	-	-	3	100.0%

4 口腔に問題のある要介護高齢者の実態に関する認識

回答者の施設等の所在する市町村区域において、口腔に問題のある(義歯が合わない、十分口腔清掃ができない等)要介護高齢者はどの程度いるか、という質問に対して、どちらの年度においても「ある程度いるようである」が最も多く、2019年度の調査では970施設(57.3%)、2023年度の調査では1,104施設(53.1%)であった。年度の変化についてカイ2乗検定と残渣分析による統計的検討を行ったところ、「非常に多い」「ある程度いるようである」と回答した者は有意に減少しており、「実態を把握していない」と回答した者は有意に増加していた(カイ二乗検定, $p < 0.001$)。

さらに施設種類別にみると、いずれの施設においても「実態を把握していない」と回答した施設の増加が認められ、特に入所施設においてはその割合が高く、2019年度の調査時の177施設(33.2%)から、2023年度の調査では301施設(47.2%)に増加していた。一方で訪問サービス事務所においては、「非常に多い」「ある程度いるようである」「ほとんどいない」と回答した者が多く、いずれの年度も約9割の施設が利用者の口腔内の状態を把握していた。

表 4-1 口腔に問題のある要介護高齢者

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
非常に多い	271	16.0%	219	10.5%
ある程度いるようである	970	57.3%	1104	53.1%
ほとんどいない	55	3.3%	48	2.3%
実態を把握していない	378	22.3%	688	33.1%
無回答・無効	18	1.1%	22	1.1%
合計	1,692	100.0%	2,081	100.0%

表 4-2 口腔に問題のある要介護高齢者（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	非常に多い	88	16.5%	67	10.5%
	ある程度いるようである	240	45.0%	257	40.3%
	ほとんどいない	22	4.1%	8	1.3%
	実態を把握していない	177	33.2%	301	47.2%
	無回答・無効	6	1.1%	5	0.8%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	非常に多い	66	14.9%	68	10.1%
	ある程度いるようである	255	57.6%	353	52.6%
	ほとんどいない	20	4.5%	23	3.4%
	実態を把握していない	99	22.3%	221	32.9%
	無回答・無効	3	0.7%	6	0.9%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス 事務所	非常に多い	106	16.7%	59	11.3%
	ある程度いるようである	431	67.9%	384	73.3%
	ほとんどいない	12	1.9%	10	1.9%
	実態を把握していない	82	12.9%	68	13.0%
	無回答・無効	4	0.6%	3	0.6%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型 居宅介護	非常に多い	-	-	12	9.9%
	ある程度いるようである	-	-	54	44.6%
	ほとんどいない	-	-	5	4.1%
	実態を把握していない	-	-	50	41.3%
	無回答・無効	-	-	0	0.0%
	合計	-	-	121	100.0%

5 歯科医師による訪問歯科診療の実施状況

回答者の施設等の所在する市町村区域の要介護者に対する、歯科医師による訪問歯科診療の実施状況について、2019年度は「少しは実施されているようだ」が29.0%と最も多かったが、2023年度では「実態を把握していない」が前回調査時の24.9%から10.2パーセントポイント増加して35.1%に達し、最も多い結果となった。

年度の変化についてカイ2乗検定と残渣分析による統計的検討を行ったところ、「十分実施されている」「少しは実施されているようだ」と回答した者は有意に減少しており、「実態を把握していない」と回答した者は有意に増加していた(カイ二乗検定, $p < 0.001$)(表5-1)。

さらに施設種類別にみると、他施設と比較して、訪問サービス事務所では「十分とは言えないがかなり実施されているようだ」「少しは実施されているようだ」と回答した割合が多く、「十分実施されている」と併せて8割以上の割合に達した。さらに「実態を把握していない」と回答した割合は10.3%であり、他施設と比較して低く、いずれの施設においても、2019年度の調査と比較して「実態を把握していない」と回答した施設の割合が増加していた。

表5-1 歯科医師による訪問歯科診療

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
十分実施されている。	155	9.2%	106	5.1%
十分とは言えないがかなり実施されているようだ。	450	26.6%	584	28.1%
少しは実施されているようだ。	491	29.0%	441	21.2%
ほとんど実施されていないようだ。	155	9.2%	198	9.5%
実態を把握していない。	422	24.9%	730	35.1%
無回答・無効	19	1.1%	22	1.1%
合計	1,692	100.0%	2,081	100.0%

表5-2 歯科医師による訪問歯科診療（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	十分実施されている。	87	16.3%	44	6.9%
	十分とは言えないがかなり実施されているようだ。	124	23.3%	182	28.5%
	少しは実施されているようだ。	103	19.3%	84	13.2%
	ほとんど実施されていないようだ。	39	7.3%	51	8.0%
	実態を把握していない。	172	32.3%	272	42.6%
	無回答・無効	8	1.5%	5	0.8%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	十分実施されている。	9	2.0%	16	2.4%
	十分とは言えないがかなり実施されているようだ。	71	16.0%	113	16.8%
	少しは実施されているようだ。	131	29.6%	140	20.9%
	ほとんど実施されていないようだ。	62	14.0%	91	13.6%
	実態を把握していない。	166	37.5%	306	45.6%
	無回答・無効	4	0.9%	5	0.7%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス 事務所	十分実施されている。	52	8.2%	39	7.4%
	十分とは言えないがかなり実施されているようだ。	240	37.8%	231	44.1%
	少しは実施されているようだ。	237	37.3%	165	31.5%
	ほとんど実施されていないようだ。	44	6.9%	32	6.1%
	実態を把握していない。	61	9.6%	54	10.3%
	無回答・無効	1	0.2%	3	0.6%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型 居宅介護	十分実施されている。	-	-	4	3.3%
	十分とは言えないがかなり実施されているようだ。	-	-	38	31.4%
	少しは実施されているようだ。	-	-	20	16.5%
	ほとんど実施されていないようだ。	-	-	12	9.9%
	実態を把握していない。	-	-	47	38.8%
	無回答・無効	-	-	0	0.0%
	合計	-	-	121	100.0%

6 歯科衛生士による訪問口腔ケアの実施状況

回答者の施設等の所在する市町村区域において、歯科衛生士による訪問口腔ケアの実施状況について、どちらの年度においても「実態を把握していない」が最も多く、2019年度の調査では555施設（32.8%）であった。

年度の変化についてカイ2乗検定と残渣分析による統計的検討を行ったところ、「十分とは言えないがかなり実施されているようだ」「実態を把握していない」と回答した者は有意に増加しており、「少しは実施されているようだ」「ほとんど実施されていないようだ」と回答した者は有意に増加していた（カイ二乗検定、 $p < 0.001$ ）（表5-1）。どちらの年度においても歯科医師による訪問歯科診療に比べ、実施状況、実態の把握状況について低いという結果が見られた（表5-1、6-1）。

さらに施設種類別にみると、他施設と比較して、訪問サービス事務所では「十分とは言えないがかなり実施されているようだ」「少しは実施されているようだ」と回答した割合が多く、「実態を把握していない」と回答した割合が低い結果となった。いずれの施設においても、2019年度の調査と比較して「実態を把握していない」と回答した施設の割合が増加していた（表6-2）。

歯科医師による訪問歯科診療、歯科衛生士による訪問口腔ケアのどちらにおいても、訪問サービス事務所では実施状況を把握している割合が高かったが、いずれの施設においても「実態を把握していない」と回答した割合が増加したという結果になった（表5-2、6-2）。

表6-1：歯科衛生士による訪問口腔ケア

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
十分実施されている。	74	4.4%	71	3.4%
十分とは言えないがかなり実施されているようだ。	245	14.5%	368	17.7%
少しは実施されているようだ。	341	20.2%	284	13.6%
ほとんど実施されていないようだ。	300	17.7%	265	12.7%
実態を把握していない。	555	32.8%	977	46.9%
無回答・無効	177	10.5%	116	5.6%
合計	1,692	100.0%	2,081	100.0%

表 6 - 2 : 歯科衛生士による訪問口腔ケア (施設種類別)

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	十分実施されている。	45	8.4%	32	5.0%
	十分とは言えないがかなり実施されているようだ。	78	14.6%	125	19.6%
	少しは実施されているようだ。	78	14.6%	61	9.6%
	ほとんど実施されていないようだ。	81	15.2%	72	11.3%
	実態を把握していない。	194	36.4%	325	50.9%
	無回答・無効	57	10.7%	23	3.6%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	十分実施されている。	2	0.5%	7	1.0%
	十分とは言えないがかなり実施されているようだ。	36	8.1%	79	11.8%
	少しは実施されているようだ。	72	16.3%	65	9.7%
	ほとんど実施されていないようだ。	83	18.7%	100	14.9%
	実態を把握していない。	202	45.6%	384	57.2%
	無回答・無効	48	10.8%	36	5.4%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス 事務所	十分実施されている。	23	3.6%	24	4.6%
	十分とは言えないがかなり実施されているようだ。	123	19.4%	132	25.2%
	少しは実施されているようだ。	181	28.5%	123	23.5%
	ほとんど実施されていないようだ。	118	18.6%	68	13.0%
	実態を把握していない。	129	20.3%	142	27.1%
	無回答・無効	61	9.6%	35	6.7%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型 居宅介護	十分実施されている。	-	-	4	3.3%
	十分とは言えないがかなり実施されているようだ。	-	-	21	17.4%
	少しは実施されているようだ。	-	-	16	13.2%
	ほとんど実施されていないようだ。	-	-	14	11.6%
	実態を把握していない。	-	-	61	50.4%
	無回答・無効	-	-	5	4.1%
	合計	-	-	121	100.0%

7 訪問歯科診療や訪問口腔ケアが十分実施できていない理由

回答者の施設等の所在する市町村区域の要介護者に対する、訪問歯科診療あるいは訪問口腔ケアの実施状況について「少しは実施されているようだ」または「ほとんど実施されていないようだ」と回答した方へ、訪問歯科診療や訪問口腔ケアが十分実施できていない理由は何だと思うか（複数回答可）という質問に対し、2023年度の調査において最も多かったのは「要介護者の口腔問題のニーズが十分把握できていないため」で511施設（65.9%）、次に多かったのは「歯科医師や歯科衛生士と他の医療福祉スタッフや行政担当者との連携が不十分であるため」で266施設（34.3%）であった。2019年度の調査においても、ほぼ同様の傾向にあった（表7-1）。

施設の種別別にみると、いずれの施設においても最も多かったのは「要介護者の口腔問題のニーズが十分把握できていないため」だったが、2番目に挙げられた理由としては入所施設では全体の傾向と異なり、「歯科医師や歯科衛生士に訪問する時間的余裕がないため」が71施設（40.8%）と高い割合を占めた（表7-2）。

表7-1 訪問歯科診療や訪問口腔ケアが十分実施できていない理由（複数回答）

	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
有効回答数	816	-	776	-
時間的余裕がない	186	22.8%	245	31.6%
数が不足している	126	15.4%	141	18.2%
ニーズが把握できていない	483	59.2%	511	65.9%
活動意欲が不十分	74	9.1%	86	11.1%
連携が不十分	287	35.2%	266	34.3%
認識が低い	139	17.0%	139	17.9%
その他	164	20.1%	148	19.1%

表 7-2 訪問歯科診療や訪問口腔ケアが十分実施できていない理由

(施設種類別)(複数回答)

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	有効回答数	192	-	174	-
	時間的余裕がない	48	25.0%	71	40.8%
	数が不足している	49	25.5%	37	21.3%
	ニーズが把握できていない	106	55.2%	105	60.3%
	活動意欲が不十分	28	14.6%	16	9.2%
	連携が不十分	71	37.0%	54	31.0%
	認識が低い	38	19.8%	25	14.4%
	その他	33	17.2%	23	13.2%
通所施設	有効回答数	216	-	253	-
	時間的余裕がない	50	23.1%	85	33.6%
	数が不足している	30	13.9%	52	20.6%
	ニーズが把握できていない	127	58.8%	168	66.4%
	活動意欲が不十分	15	6.9%	24	9.5%
	連携が不十分	96	44.4%	104	41.1%
	認識が低い	29	13.4%	46	18.2%
	その他	40	18.5%	44	17.4%
訪問サービス事業所	有効回答数	372	-	260	-
	時間的余裕がない	79	21.2%	68	26.2%
	数が不足している	41	11.0%	38	14.6%
	ニーズが把握できていない	231	62.1%	182	70.0%
	活動意欲が不十分	30	8.1%	30	11.5%
	連携が不十分	110	29.6%	78	30.0%
	認識が低い	67	18.0%	54	20.8%
	その他	80	21.5%	69	26.5%
小規模多機能型居宅介護	有効回答数	-	-	42	-
	時間的余裕がない	-	-	10	23.8%
	数が不足している	-	-	5	11.9%
	ニーズが把握できていない	-	-	27	64.3%
	活動意欲が不十分	-	-	7	16.7%
	連携が不十分	-	-	14	33.3%
	認識が低い	-	-	8	19.0%
	その他	-	-	8	19.0%

8 在宅歯科医療連携室の活用状況

電話相談などで在宅歯科医療連携室を活用したことがあるのは 437 施設（21.0%）、存在を知っているが活用したことがないのは 893 施設（42.9%）、残りの 730 施設（35.1%）は在宅歯科医療連携室の存在を知らないという結果となった。

年度の変化についてカイ 2 乗検定と残渣分析による統計的検討を行ったところ、「活用したことがある」と回答した施設数は横ばいだったが、「活用したことはないが、在宅歯科医療連携室は知っている」と回答した施設が 239 施設（4.2 パーセントポイント）増加した結果、統計的に有意差が認められた（カイ二乗検定， $p < 0.001$ ）（表 8-1）。

施設種類別にみると、訪問サービス事務所では「活用したことがある」と回答した者の割合がどちらの年度も半数を越えており、「在宅歯科医療連携室を知らない」と回答した施設は 15%程度であった。一方で、入所施設・通所施設においては、「在宅歯科医療連携室を知らない」と回答した施設割合は 2019 年度と比較して減少したものの、その割合は両施設ともに 4 割以上であった（表 8-2）。

表 8 在宅歯科医療連携室を活用状況

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
活用したことがある	439	26.0%	437	21.0%
活用したことはないが、在宅歯科医療連携室は知っている	654	38.7%	893	42.9%
在宅歯科医療連携室を知らない	582	34.4%	730	35.1%
無回答・無効	17	1.0%	21	1.0%
合計	1692	100.0%	2081	100.0%

表 8-1 在宅歯科医療連携室を活用状況（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	活用したことがある	79	14.8%	78	12.2%
	活用したことはないが、在宅歯科医療連携室は知っている	229	43.0%	290	45.5%
	在宅歯科医療連携室を知らない	221	41.5%	262	41.1%
	無回答・無効	4	0.8%	8	1.3%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	活用したことがある	21	4.7%	34	5.1%
	活用したことはないが、在宅歯科医療連携室は知っている	194	43.8%	342	51.0%
	在宅歯科医療連携室を知らない	222	50.1%	289	43.1%
	無回答・無効	6	1.4%	6	0.9%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問サービス事務所	活用したことがある	326	51.3%	285	54.4%
	活用したことはないが、在宅歯科医療連携室は知っている	205	32.3%	155	29.6%
	在宅歯科医療連携室を知らない	102	16.1%	83	15.8%
	無回答・無効	2	0.3%	1	0.2%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模多機能型居宅介護	活用したことがある	-	-	26	21.5%
	活用したことはないが、在宅歯科医療連携室は知っている	-	-	53	43.8%
	在宅歯科医療連携室を知らない	-	-	42	34.7%
	無回答・無効	-	-	0	0.0%
	合計	-	-	121	100.0%

9 要介護者に対する日常的な口腔内観察の実施状況

要介護者の口腔内の観察を日常的に行っているか、という質問に対して、どちらの年度においても「概ねしている」が最も多く 2019 年度の調査では 847 施設（50.1%）、2023 年度の調査では 988 施設（47.5%）であった。年度を比較したところ、有意な差は見られなかった（カイ二乗検定， $p = 0.056$ ）（表 9 - 1）。

施設の種別別にみると、「常にしている・概ねしている」と回答した割合を併せると入所施設（84.0%）・通所施設（70.7%）・訪問サービス事務所（49.8%）でいずれも減少しており、「ほとんどしていない」「していない」と回答していた割合が増加していた（表 9 - 2）。

表 9-1 要介護者の口腔内の観察

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
常にしている	384	22.7%	456	21.9%
概ねしている	847	50.1%	988	47.5%
ほとんどしていない	351	20.7%	477	22.9%
していない	93	5.5%	149	7.2%
無回答・無効	17	1.0%	11	0.5%
合計	1692	100.0%	2081	100.0%

表 9-1 要介護者の口腔内の観察（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	常にしている	231	43.3%	238	37.3%
	概ねしている	270	50.7%	298	46.7%
	ほとんどしていない	22	4.1%	58	9.1%
	していない	7	1.3%	43	6.7%
	無回答・無効	3	0.6%	1	0.2%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	常にしている	111	25.1%	144	21.5%
	概ねしている	225	50.8%	330	49.2%
	ほとんどしていない	79	17.8%	146	21.8%
	していない	26	5.9%	48	7.2%
	無回答・無効	2	0.5%	3	0.4%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス 事務所	常にしている	26	4.1%	24	4.6%
	概ねしている	323	50.9%	237	45.2%
	ほとんどしていない	236	37.2%	228	43.5%
	していない	44	6.9%	35	6.7%
	無回答・無効	6	0.9%	0	0.0%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型 居宅介護	常にしている	-	-	31	25.6%
	概ねしている	-	-	76	62.8%
	ほとんどしていない	-	-	14	11.6%
	していない	-	-	0	0.0%
	無回答・無効	-	-	0	0.0%
	合計	-	-	121	100.0%

10 ケアプランへの口腔ケアの組み込み状況

ケアプラン（あるいは診療計画）に口腔ケアを組み込んでいるか、という質問に対して、どちらの年度においても「概ねしている」が最も多く、2019年度の調査では660施設（39.0%）、2023年度の調査では761施設（36.6%）であった。年度を比較したところ、有意な差は見られなかった（カイ二乗検定、 $p = 0.386$ ）（表10-1）

2023年度の調査において、施設の種類の割合では、「常にしている・概ねしている」と回答した割合が入所型施設で59.6%、通所型施設で42.5%、訪問サービス事務所で55.0%であり、2019年度の調査と比較して、割合に大きな変化は見られなかった（表10-2）。

表 10-1 ケアプランへの口腔ケアの組み込み

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
常にしている	235	13.9%	287	13.8%
概ねしている	660	39.0%	761	36.6%
ほとんどしていない	565	33.4%	731	35.1%
していない	212	12.5%	282	13.6%
無回答・無効	20	1.2%	20	1.0%
合計	1692	100.0%	2081	100.0%

表 10-2 ケアプランへの口腔ケアの組み込み（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	常にしている	148	27.8%	155	24.3%
	概ねしている	196	36.8%	225	35.3%
	ほとんどしていない	135	25.3%	176	27.6%
	していない	50	9.4%	78	12.2%
	無回答・無効	4	0.8%	4	0.6%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	常にしている	47	10.6%	84	12.5%
	概ねしている	143	32.3%	201	30.0%
	ほとんどしていない	156	35.2%	241	35.9%
	していない	94	21.2%	138	20.6%
	無回答・無効	3	0.7%	7	1.0%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス 事務所	常にしている	30	4.7%	22	4.2%
	概ねしている	301	47.4%	266	50.8%
	ほとんどしていない	255	40.2%	215	41.0%
	していない	43	6.8%	21	4.0%
	無回答・無効	6	0.9%	0	0.0%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型 居宅介護	常にしている	-	-	11	9.1%
	概ねしている	-	-	35	28.9%
	ほとんどしていない	-	-	57	47.1%
	していない	-	-	17	14.0%
	無回答・無効	-	-	1	0.8%
	合計	-	-	121	100.0%

11 要介護者に対する口腔内の問題点やニーズ把握の状況

要介護者に対して口腔内の問題点やニーズをとらえているか、という質問に対して、どちらの年度においても「概ねとらえている」が最も多く、2019年度の調査では1,009施設（59.6%）、2023年度の調査では1,125施設（54.1%）であった。年度の変化についてカイ2乗検定と残渣分析による統計的検討を行ったところ、「概ねとらえている」と回答した者は有意に減少しており、「ほとんどとらえていない」「とらえていない」と回答した者は有意に増加していた（カイ二乗検定、 $p < 0.001$ ）（表 11-1）。

2023年度の調査において、施設の種類の割合では、「常にとらえている・概ねとらえている」と回答した割合が入所施設で76.8%、通所施設で57.4%、訪問サービス事務所で63.3%、小規模多機能型居宅介護で70.3%、逆に、「ほとんどとらえていない・とらえていない」と回答した割合は入所施設で22.4%、通所施設で41.9%、訪問サービス事務所で36.1%、小規模多機能型居宅介護で4.9%という結果であり、2019年度の調査と比較して、いずれの施設においても要介護者に対して口腔内の問題点やニーズについて把握している割合が減少していた。（表 11 - 2）

表 11-1 要介護者に対する口腔内の問題点やニーズの把握

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
常にとらえている	196	11.6%	226	10.9%
概ねとらえている	1009	59.6%	1125	54.1%
ほとんどとらえていない	407	24.1%	613	29.5%
とらえていない	47	2.8%	97	4.7%
無回答・無効	33	2.0%	20	1.0%
合計	1692	100.0%	2081	100.0%

表 11-2 要介護者に対する口腔内の問題点やニーズの把握（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	常にとらえている	104	19.5%	115	18.0%
	概ねとらえている	342	64.2%	375	58.8%
	ほとんどとらえていない	71	13.3%	114	17.9%
	とらえていない	8	1.5%	29	4.5%
	無回答・無効	8	1.5%	5	0.8%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	常にとらえている	44	9.9%	61	9.1%
	概ねとらえている	246	55.5%	324	48.3%
	ほとんどとらえていない	126	28.4%	243	36.2%
	とらえていない	20	4.5%	38	5.7%
	無回答・無効	7	1.6%	5	0.7%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス 事務所	常にとらえている	33	5.2%	28	5.3%
	概ねとらえている	389	61.3%	304	58.0%
	ほとんどとらえていない	193	30.4%	179	34.2%
	とらえていない	8	1.3%	10	1.9%
	無回答・無効	12	1.9%	3	0.6%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型 居宅介護	常にとらえている	-	-	10	8.3%
	概ねとらえている	-	-	75	62.0%
	ほとんどとらえていない	-	-	30	24.8%
	とらえていない	-	-	5	4.1%
	無回答・無効	-	-	1	0.8%
	合計	-	-	121	100.0%

12 口腔内の状況をふまえた口腔ケアの実施状況

前問「要介護者に対して口腔内の問題点やニーズをとらえているか」で「常にとらえている」または「概ねとらえている」を選択した施設へ、口腔内の状況をふまえた口腔ケア実施について尋ねた質問に対して、どちらの年度においても「概ねしている」が最も多く、2019年度の調査では776施設（64.4%）、2023年度の調査では916施設（67.8%）であった。年度の変化についてカイ2乗検定と残渣分析による統計的検討を行ったところ、「していない」と回答した者の有意な減少が認められた（カイ二乗検定， $p=0.014$ ）（表12）。前問においては、「口腔内の問題点やニーズの把握」に2019年と比較した有意な減少が認められたものの、「把握している」と回答した施設においては、それを踏まえた口腔ケアを実施している割合が増加したという結果になった。

2023年度の調査において、施設の種類の割合では、「常にしている・概ねしている」と回答した割合が入所施設で96.3%、通所施設で91.9%、訪問サービス事務所で79.5%、小規模多機能型居宅介護で97.7%と高値であり、2019年度の調査と比較して、いずれの施設においても口腔内の状況をふまえた口腔ケアを実施している割合が増加していた。

表 12-1 口腔内の状況をふまえた口腔ケア

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
常にしている	270	22.4%	310	22.9%
概ねしている	776	64.4%	916	67.8%
ほとんどしていない	106	8.8%	97	7.2%
していない	36	3.0%	19	1.4%
無回答・無効	17	1.4%	9	0.7%
合計	1205	100.0%	1351	100.0%

表 12-2 口腔内の状況をふまえた口腔ケア（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	常にしている	166	37.2%	157	32.0%
	概ねしている	262	58.7%	315	64.3%
	ほとんどしていない	15	3.4%	15	3.1%
	していない	0	0.0%	2	0.4%
	無回答・無効	3	0.7%	1	0.2%
	合計	446	100.0%	490	100.0%
通所施設	常にしている	70	24.1%	94	24.4%
	概ねしている	195	67.2%	260	67.5%
	ほとんどしていない	22	7.6%	24	6.2%
	していない	2	0.7%	5	1.3%
	無回答・無効	1	0.3%	2	0.5%
	合計	290	100.0%	385	100.0%
訪問 サービス 事務所	常にしている	22	5.2%	25	7.5%
	概ねしている	291	69.0%	239	72.0%
	ほとんどしていない	65	15.4%	53	16.0%
	していない	31	7.3%	10	3.0%
	無回答・無効	13	3.1%	5	1.5%
	合計	422	100.0%	332	100.0%
小規模 多機能型 居宅介護	常にしている	-	-	22	25.9%
	概ねしている	-	-	61	71.8%
	ほとんどしていない	-	-	1	1.2%
	していない	-	-	0	0.0%
	無回答・無効	-	-	1	1.2%
	合計	-	-	85	100.0%

13 介護者の口腔ケアの負担感に対する認識

口腔ケアは介護者にとって負担だと思いか、という質問に対して、どちらの年度においても「思う」が最も多く、2019年度の調査では947施設（56.0%）、2023年度の調査では937施設（45.0%）であった。年度を比較したところ、有意な差は見られなかった（カイ二乗検定、 $p = 0.087$ ）。（表13-1）

2023年度の調査において、施設の種類の割合では、「非常に思う・思う」と回答した割合が入所施設で45.9%、通所施設で55.1%、訪問サービス事務所で71.4%、小規模多機能型居宅介護で48.0%、逆に、「それほど思わない・全く思わない」回答した割合は入所施設で45.4%、通所施設で29.4%、訪問サービス事務所で13.0%、小規模多機能型居宅介護で39.7%という結果であり、2019年度の調査と比較して、この傾向に大きな変化は見られなかった。（表13-2）

表13-1 口腔ケアの介護者にとっての負担感

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
非常に思う	191	11.3%	214	10.3%
思う	947	56.0%	937	45.0%
それほど思わない	469	27.7%	563	27.1%
全く思わない	67	4.0%	75	3.6%
無回答・無効	18	1.1%	292	14.0%
合計	1692	100.0%	2081	100.0%

表 13-2 口腔ケアの介護者にとっての負担感

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	非常に思う	47	8.8%	35	5.5%
	思う	236	44.3%	258	40.4%
	それほど思わない	211	39.6%	251	39.3%
	全く思わない	36	6.8%	39	6.1%
	無回答・無効	3	0.6%	55	8.6%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	非常に思う	42	9.5%	78	11.6%
	思う	237	53.5%	292	43.5%
	それほど思わない	141	31.8%	175	26.1%
	全く思わない	21	4.7%	22	3.3%
	無回答・無効	2	0.5%	104	15.5%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス 事務所	非常に思う	95	15.0%	81	15.5%
	思う	435	68.5%	293	55.9%
	それほど思わない	92	14.5%	63	12.0%
	全く思わない	7	1.1%	5	1.0%
	無回答・無効	6	0.9%	82	15.6%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型 居宅介護	非常に思う	-	-	10	8.3%
	思う	-	-	48	39.7%
	それほど思わない	-	-	42	34.7%
	全く思わない	-	-	6	5.0%
	無回答・無効	-	-	15	12.4%
	合計	-	-	121	100.0%

14 口腔ケアに関する研修会の受講状況

今までに口腔ケアに関する研修会を受けたことはあるか、という質問に対して、どちらの年度においても「はい」が多く、2019年度の調査では1,351施設（79.8%）、2023年度の調査では1,286施設（61.8%）であり、年度を比較したところ、受講経験があると回答した者の有意な減少が認められた（カイ二乗検定， $p < 0.001$ ）（表 14-1）

2023年度の調査において、施設の種類の割合では、「受講経験がある」と回答した割合が入所施設で66.1%、通所施設で54.2%、訪問サービス事務所で70.4%、小規模多機能型居宅介護で64.5%という結果であり、2019年度の調査と比較して、「受講経験がある」と回答した者はいずれの施設においても減少していた（表 14 - 2）。

表 14-1 口腔ケアに関する研修会の受講経験

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
はい	1351	79.8%	1286	61.8%
いいえ	328	19.4%	504	24.2%
無回答・無効	13	0.8%	291	14.0%
合計	1692	100.0%	2081	100.0%

表 14-2 口腔ケアに関する研修会の受講経験（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	はい	441	82.7%	422	66.1%
	いいえ	91	17.1%	160	25.1%
	無回答・無効	1	0.2%	56	8.8%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	はい	327	73.8%	364	54.2%
	いいえ	114	25.7%	205	30.6%
	無回答・無効	2	0.5%	102	15.2%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス事 務所	はい	525	82.7%	369	70.4%
	いいえ	106	16.7%	73	13.9%
	無回答・無効	4	0.6%	82	15.6%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型居 宅介護	はい	-	-	78	64.5%
	いいえ	-	-	28	23.1%
	無回答・無効	-	-	15	12.4%
	合計	-	-	121	100.0%

15 口腔ケア研修会の受講希望の有無

今後口腔ケア研修会を受けてみたいか、という質問に対して、どちらの年度においても「はい」が多く、2019年度の調査では1,472施設(87.0%)、2023年度の調査では1,565施設(75.2%)であり、11.8パーセントポイント「はい」と回答した者の割合が減少していたものの、年度を比較したところ、有意な差は見られなかった(カイ二乗検定, $p = 0.147$)(表15-1)。

2023年の調査において、施設の種類別の割合では、「受講したい」と回答した割合が入所施設で83.5%、通所施設で71.1%、訪問サービス事務所で73.5%、小規模多機能型居宅介護で81.8%という結果であり、2019年度の調査と比較して、いずれの施設においても「受講したい」と回答した割合が減少していた(表15-2)。

表15-1 口腔ケア研修会の受講希望

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
はい	1472	87.0%	1565	75.2%
いいえ	178	10.5%	221	10.6%
無回答・無効	42	2.5%	295	14.2%
合計	1692	100.0%	2081	100.0%

表 15-2 口腔ケア研修会の受講希望（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	はい	489	91.7%	533	83.5%
	いいえ	35	6.6%	47	7.4%
	無回答・無効	9	1.7%	58	9.1%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	はい	385	86.9%	477	71.1%
	いいえ	50	11.3%	92	13.7%
	無回答・無効	8	1.8%	102	15.2%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス事 務所	はい	536	84.4%	385	73.5%
	いいえ	81	12.8%	56	10.7%
	無回答・無効	18	2.8%	83	15.8%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型居 宅介護	はい	-	-	99	81.8%
	いいえ	-	-	6	5.0%
	無回答・無効	-	-	16	13.2%
	合計	-	-	121	100.0%

16 歯科専門職（歯科医師等）との連携状況

歯科専門職（歯科医師等）と日常的に連携をとっているか、という質問に対して、最も多かった回答は2019年度では「ほとんどとっていない」が568施設（33.6%）だったが、2023年度の調査では「とっていない」が711施設（34.2%）であり、歯科専門職との連携について、縮小傾向にあることが分かった。年度の変化についてカイ2乗検定と残渣分析による統計的検討を行ったところ、「概ねとっている」と回答した者は有意に減少しており、「とっていない」と回答した者は有意に増加していた（カイ二乗検定， $p < 0.001$ ）（表 16-1）

2023年度の調査において、施設の種類別の割合では、「とっている・概ねとっている」と回答した割合が入所施設で61.7%、通所施設で11.0%、訪問サービス事務所で27.3%、小規模多機能型居宅介護で28.9%、逆に、「ほとんどとっていない・とっていない」と回答した割合は入所施設で36.7%、通所施設で85.9%、訪問サービス事務所で70.5%、小規模多機能型居宅介護で68.5%という結果であり、2019年度の調査と比較して、いずれの施設においても「とっている・概ねとっている」と回答した割合が減少していた。（表 16 - 2）

表 16-1 歯科専門職（歯科医師等）との日常的な連携

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
とっている	262	15.5%	275	13.2%
概ねとっている	395	23.3%	389	18.7%
ほとんどとっていない	568	33.6%	645	31.0%
とっていない	453	26.8%	711	34.2%
無回答・無効	14	0.8%	61	2.9%
合計	1692	100.0%	2081	100.0%

表 16-2 歯科専門職（歯科医師等）との日常的な連携（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	とっている	184	34.5%	189	29.6%
	概ねとっている	178	33.4%	205	32.1%
	ほとんどとっていない	108	20.3%	142	22.3%
	とっていない	63	11.8%	92	14.4%
	無回答・無効	0	0.0%	10	1.6%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	とっている	21	4.7%	31	4.6%
	概ねとっている	34	7.7%	43	6.4%
	ほとんどとっていない	145	32.7%	158	23.5%
	とっていない	240	54.2%	419	62.4%
	無回答・無効	3	0.7%	20	3.0%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス 事務所	とっている	41	6.5%	35	6.7%
	概ねとっている	166	26.1%	108	20.6%
	ほとんどとっていない	299	47.1%	267	51.0%
	とっていない	124	19.5%	102	19.5%
	無回答・無効	5	0.8%	12	2.3%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型 居宅介護	とっている	-	-	11	9.1%
	概ねとっている	-	-	24	19.8%
	ほとんどとっていない	-	-	51	42.1%
	とっていない	-	-	32	26.4%
	無回答・無効	-	-	3	2.5%
	合計	-	-	121	100.0%

17 歯科医師、歯科衛生士等との相談体制

歯科医師、歯科衛生士等に口腔に関する問題について相談することができるか、という質問に対して、どちらの年度においても「相談できる」が多く、2019年度の調査では1,135施設（67.1%）、2023年度の調査では1260施設（60.5%）であったものの、年度を比較したところ、「相談できない」と回答した者の有意な増加が認められた（カイ二乗検定， $p < 0.001$ ）（表 17-1）

2023年度の調査において、施設の種類別の割合では、「相談できる」と回答した割合が入所施設で84.3%、通所施設で33.4%、訪問サービス事務所で71.9%、小規模多機能型居宅介護で69.4%という結果であり、2019年度の調査と比較して、大きな変化は見られなかった。（表 17 - 2）

表 17-1 歯科専門職（歯科医師等）への相談

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
相談できる	1135	67.1%	1260	60.5%
相談できない	536	31.7%	758	36.4%
無回答・無効	21	1.2%	63	3.0%
合計	1692	100.0%	2081	100.0%

表 17-2 歯科専門職（歯科医師等）への相談（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	相談できる	452	84.8%	538	84.3%
	相談できない	80	15.0%	91	14.3%
	無回答・無効	1	0.2%	9	1.4%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	相談できる	188	42.4%	224	33.4%
	相談できない	249	56.2%	425	63.3%
	無回答・無効	6	1.4%	22	3.3%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス 事務所	相談できる	450	70.9%	377	71.9%
	相談できない	178	28.0%	135	25.8%
	無回答・無効	7	1.1%	12	2.3%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型 居宅介護	相談できる	-	-	84	69.4%
	相談できない	-	-	34	28.1%
	無回答・無効	-	-	3	2.5%
	合計	-	-	121	100.0%

18 協力歯科医師の有無

どちらの年度においても、回答者の事務所には、協力歯科医師が「いない」と答えた者の割合が多く、2019年度の調査では921施設（54.4%）、2023年度の調査では1205施設（57.9%）であった。年度を比較したところ、「いる」「いない」と答えた施設数はいずれも増加していたものの、割合としては「いる」と回答した施設が減少し、「いない」と回答した施設が増加し、統計的に有意な差が認められた(カイ二乗検定 $p = 0.006$) (表 18-1)。

2023年度の調査において、施設の種類の割合では、協力歯科医が「いる」と回答した割合が入所施設で80.6%、通所施設で17.7%、訪問サービス事務所で15.3%、小規模多機能型居宅介護で61.2%という結果であり、2019年度の調査と比較して、いずれの施設においても割合の減少が認められた。(表 18 - 2)

表 18-1 協力歯科医の有無

回答	調査年			
	2019		2023	
	回答数	割合	回答数	割合
いる	749	44.3%	814	39.1%
いない	921	54.4%	1205	57.9%
無回答・無効	22	1.3%	62	3.0%
合計	1692	100.0%	2081	100.0%

表 18-2 協力歯科医の有無（施設種類別）

		調査年			
		2019		2023	
		回答数	割合	回答数	割合
入所施設	いる	452	84.8%	514	80.6%
	いない	78	14.6%	115	18.0%
	無回答・無効	3	0.6%	9	1.4%
	合計	533	100.0%	638	100.0%
通所施設	いる	105	23.7%	119	17.7%
	いない	335	75.6%	532	79.3%
	無回答・無効	3	0.7%	20	3.0%
	合計	443	100.0%	671	100.0%
訪問 サービス 事務所	いる	146	23.0%	80	15.3%
	いない	479	75.4%	430	82.1%
	無回答・無効	10	1.6%	14	2.7%
	合計	635	100.0%	524	100.0%
小規模 多機能型 居宅介護	いる	-	-	74	61.2%
	いない	-	-	44	36.4%
	無回答・無効	-	-	3	2.5%
	合計	-	-	121	100.0%

19 利用者が歯科健診を受ける機会

利用者が、「歯科医師による歯科健診」を受ける機会があるかという質問に対して、「あり」と回答したのは821施設(39.5%)「なし」と回答したのは1179施設(56.7%)であった。

施設別に比較すると、「あり」と回答した施設が最も多かったのは訪問サービス事務所で286施設(54.6%)「なし」と回答した施設が最も多かったのは通所施設で511施設(76.2%)であり、施設の種類別に有意差が認められた(カイ二乗検定, $p < 0.001$) (表19)。

表19 歯科健診を受ける機会の有無(施設種類別)

	あり		年1回以上あり(再掲)		なし		無回答・無効		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
入所施設	333	52.2%	192	30.1%	294	46.1%	11	1.7%	638	100.0%
通所施設	134	20.0%	53	7.9%	511	76.2%	26	3.9%	671	100.0%
訪問サービス事務所	286	54.6%	154	29.4%	218	41.6%	20	3.8%	524	100.0%
小規模多機能 居宅介護	44	36.4%	24	19.8%	72	59.5%	5	4.1%	121	100.0%
その他・ 複数回答等	24	18.9%	14	11.0%	84	66.1%	19	15.0%	127	100.0%
全施設	821	39.5%	437	21.0%	1179	56.7%	81	3.9%	2081	100.0%

20 歯科健診の頻度

前問「歯科健診を受ける機会があるか」で「あり」を選択した施設へ、歯科健診の頻度について尋ねた質問に対し、全施設で最も多かった回答は「不定期」であり、282施設（34.3%）次いで「年1回」が235施設（28.6%）であった。入所施設、通所施設では「年2～3回」「年4回以上」と回答した施設も1割程度認められ、施設の種別別に有意差が認められた（カイ二乗検定， $p < 0.001$ ）（表20）

表20 歯科健診を受ける機会の有無（施設種別別）

	年1回		年2～3回		年4回以上		不定期		その他		無回答・無効		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
入所施設	103	30.9%	34	10.2%	55	16.5%	97	29.1%	40	12.0%	4	1.2%	333	100.0%
通所施設	29	21.6%	13	9.7%	11	8.2%	56	41.8%	20	14.9%	5	3.7%	134	100.0%
訪問サービス事務所	74	25.9%	56	19.6%	24	8.4%	102	35.7%	28	9.8%	2	0.7%	286	100.0%
小規模多機能型居宅介護	18	40.9%	4	9.1%	2	4.5%	18	40.9%	2	4.5%	0	0.0%	44	100.0%
その他・複数回答等	11	45.8%	1	4.2%	2	8.3%	9	37.5%	0	0.0%	1	4.2%	24	100.0%
全施設	235	28.6%	108	13.2%	94	11.4%	282	34.3%	90	11.0%	12	1.5%	821	100.0%

21 定期的に歯科健診を実施していない理由

前々問「歯科健診を受ける機会があるか」で「なし」を選択した施設、前問「歯科健診の頻度」で「不定期」または「その他」を選択した施設へ、定期的に歯科健診を実施していない理由を尋ねた質問に対し、全施設で最も多かった回答は「その他」640施設（41.3%）、次いで「時間が確保できないため」が552施設（35.6%）であった。施設種類別に最も多い理由は異なったが、「時間が確保できないため」「対応する職員の数を確保できないため」「その他」が理由の上位に挙げられた（表21）。

表21 定期的に歯科健診を実施していない理由（施設種類別）（複数回答）

	有効回答数		必要性や効果がわからないため		時間が確保できないため		費用が確保できないため		対応する職員の数を確保できないため		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
入所施設	431	-	48	11.1%	157	36.4%	104	24.1%	166	38.5%	172	39.9%
通所施設	587	-	92	15.7%	233	39.7%	151	25.7%	220	37.5%	226	38.5%
訪問サービス事務所	348	-	97	27.9%	108	31.0%	54	15.5%	50	14.4%	163	46.8%
小規模多機能型居宅介護	92	-	18	19.6%	26	28.3%	27	29.3%	22	23.9%	40	43.5%
その他・複数回答等	93	-	17	18.3%	28	30.1%	22	23.7%	33	35.5%	39	41.9%
全施設	1,551	-	272	17.5%	552	35.6%	358	23.1%	491	31.7%	640	41.3%

令和5年度要介護者口腔保健・医療・ケアに関する

関係者アンケート調査報告書【暫定版】

令和6年7月

新潟県福祉保健部健康づくり支援課

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1

TEL 025-280-5934

新潟県歯科医師会

〒950-0982 新潟市中央区堀之内南3-8-13

TEL 025-283-3030